



ふじ林伸一通信

責任と挑戦で“笑顔と希望、のまちづくり！”



第3号
2023年 秋冬号

発行：藤林伸一松原市議会議員
〒580-0025 松原市北新町4-9-5
TEL&FAX：072-321-4111



// ご・あ・い・さ・つ //

日頃より温かなご支援・ご支持を頂戴し、本当に感謝申し上げます。議員活動も1年が経過し、この間にお受けした市民相談では様々なことを勉強し経験させて頂いたことが、自身の議員力の向上に繋がっております。本当に有難うございます。

令和5年度第3回定例会では、奨学金返還支援制度の創設と、教員業務支援員の配置について質問をさせて頂きました。

これからもお一人お一人の声に耳を傾け、応援して下さった皆様への感謝を忘れずに懸命に頑張っております。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

活動報告



実現しました!



▼309号線の歩道、
近鉄線の高架付近の階段に
注意喚起をしました!



▼天美我堂5丁目付近の
道路の陥没を補修しました!



▼松原警察西交差点の
ポールを修復しました!



▼河合1丁目付近の
歩道を整備しました!



【街頭演説】



府本部一斉街頭
9月3日



QRコードから議会の映像が見れます ▲

個人質問



奨学金返還支援制度について

問 本市における、奨学金の利用者数について。

答 1学年につき約360名が奨学金を利用している。

問 奨学金制度の対象者の拡大や、返済不要の給付型奨学金が実現されてきた事により、奨学金の利用者が拡大してきた。しかし、低所得などの理由により、経済的困窮などが重なり返還額を延滞してしまう方々が出てくるというのが現状。松原市での返還延滞者数はどのくらいか。

答 松原市内に約540名の返還滞納者がいると推計されます。滞納の理由としては本人の低所得が6割を占めている。



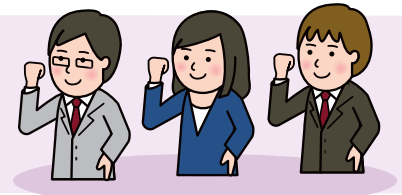
問 令和2年に公明党が当時の安倍首相に政策提言し、同6月に対象要件の変更がされた。これにより企業との基金の設置を不要とし、特別交付税対象経費の範囲が拡大された。これを契機に実施する自治体が増えているが。

答 令和4年には36府県615市町村が実施している。全国的に見ても実施自治体は増加している。

問 市内の企業の方々からは、人材不足に対する懸念の声が多い。奨学金返還支援制度の設計において、その要件として市内企業への就職を要件に加え、市内産業の振興を図っていく事が課題ではないか。

答 奨学金返還支援制度については、支援対象の要件などを研究・工夫することで、市内企業の担い手確保と活性化、定住人口の獲得などに寄与する施策となる可能性がある。

まとめ 市内の企業を活性化させる為にも、商工会議所とタッグを組んで取り組んでもらいたい。その上で、松原市においても地方創生と市内産業の振興・活性化を目的に、奨学金返還支援制度の創設を強く要望する！



教員業務支援員について

問 教員の働き方についての課題は。

答 月45時間を超えるものについては令和4年度、小学校で45.5%、中学校で54.6%となり、高い確率で上限方針を越えている教職員がいる状況。

問 国では学校に教員業務支援員を約2万8000人配置するための概算要求が出されたが。

答 「児童生徒の休み時間における対応」「校内清掃」「プリントの印刷など授業の準備」「簡単な丸付けや成績処理の代理入力」「学校行事の準備運営」などに携わることが想定されている。



まとめ 学校に教員業務支援員を配置する事により教職員の業務軽減が為され、この事によって教員にとって一番の仕事、いわゆる児童生徒への学力向上の研究時間や、児童生徒との関わりの時間が増えると思う。教職員の働き方改革は、考え方として、その目的を教職員の時間外勤務を減らす等にするのではなく、あくまでもそれは手段である。松原市においても教員業務支援員の配置をお願いしたい。



市政に関すること お困りごとなど
お気軽にご相談ください！

ふじ林 伸一

電話 334-1550 内線 2361
松原市役所 / 公明党議員控室

松原市議会議員 1期
公明党松原支部 副支部長



▲ ツイッターも
ぜひご覧ください